

光部品生産技術部会 講演要旨

開催日：2021年7月16日（金） <2021-1 ①>

テーマ：「密を避けるための行動センシング技術と施策検討のためのシミュレーション技術」

講演者：田邊功一氏（株式会社構造計画研究所 行動センシング・デザイン室）／

北上靖大氏（株式会社構造計画研究所 社会デザイン・マーケティング部）

構造計画研究所が取り組んできた、カメラセンサーを活用した「行動センシング」と、それにより取得されるデータを活用した「時空間情報可視化・分析と空間マネジメント」に関する取り組みについて紹介した。

行動センシングに関して、2006年 Vitracom 社（独）との協業以降の活動を、システム構成や画像処理手法の変化やデータ活用のされ方の変遷、特に 2020 年以降のコロナ禍での密検知を目的とした「滞在人数把握」について、プロジェクト事例を交え紹介した。

センシングされたデータ活用について、施設レイアウト検討・検証のためのマルチエージェント・シミュレーションを事例として、行動モデル作成のためのセンシングや、シミュレーション結果の活用例を紹介した。

計測による現状把握と、そのデータを活用した施策検討評価、施策実施後の施策効果検証が、人々が安心・快適な活動を行う上で有益なことであり続けると考える。

紹介した当社の取り組みが、その一助となれるよう、引き続き取り組みを進めていきたい。